

タイトル：長く集中できる学習空間

C1240776 斎藤登馬

テーマ：これまで以上に利用したくなるような図書館を提案する。

私は、大学内の図書館を1時間ほど利用し図書館のメリットとデメリットを探すことにしました。メリットとしては多様な本があることとなにより静かなことです。図書館には当然たくさんの本が置かれており勉強していて気になったことがあれば関連する本を探してすぐに調べることができます。また基本的に図書館では私語が禁止されているため周りの音に邪魔されることなく集中して勉強することができました。デメリットとしては、周りが静かであるが故に逆に集中できなくなることです。普段図書館を利用しない私は1時間ほど経つと集中が切れてしまいました。そのため今回は「図書館で気分転換したい」というニーズについて考えていきます。

次に図書館で気分転換したいというニーズから潜在的ニーズを考えていきます。私は図書館を利用して1時間ほどで集中が切れてしまいまったため図書館で気分転換したいと考えました。なぜ気分転換したいのかと考えた際に、図書館での勉強時間を長くし勉強効率を上げたいのだという結論が出ました。

ここからは課題について考えていきます。顕在的ニーズ、潜在的ニーズから図書館で長く勉強ができ、勉強効率を上げることができる空間が必要ということが考えられ

るので「図書館で長く勉強ができ、勉強効率を上げることができる空間をつくるにはどうしたらよいか」という課題を設定しました。課題を解決するにあたってのコンセプトは「勉強に疲れてしまった人のための気分転換にアクアリウムで心を癒す学習スペース」に決めました。このコンセプトにした理由は、私のように図書館で集中して長く勉強したいけど途中で飽きてしまったり、堅苦しい環境に疲れてしまったりする人がいると考えたからです。

次にプロダクトについてです。私が考えた具体的な案は図書館1階のひとつひとつが仕切りとなっている机に水槽を設置します。ひとつひとつの水槽には熱帯魚、淡水魚、金魚など各机ごとに異なった魚を泳がせます。このようにすることで図書館をリピートする人が増えると考えました。さらに各机には魚のえさを用意します。においが気にならないように消臭ビーズも用意します。

水槽（アクアリウム）を設置した際に期待される効果としては、

- ・アクアリウムを見ることで、脳波の活性化度合いが低下し、心拍数や血圧も下がる
- ・リラックス効果の増大が期待され、非日常の癒しを感じることができる。
- ・水や水草の揺らぎ、魚の泳ぎには人の心を癒すリラクゼーション効果がある。

私はこのプロダクトがコンセプトを満たしていると考えます。またこのプロダクトにより定義した課題を解決することにつながると考えました。